

## 堅田電機株式会社 様

### 情報システムの顧客満足度向上策は 情報セキュリティの向上

AssetView GOLDを活用し、取引先からの要求以上の情報セキュリティを実現

#### ご担当者様



堅田電機株式会社  
システム課 課長  
辻本 博一氏



堅田電機株式会社  
システム課  
門間 大輔氏

#### 弊社担当営業



株式会社ハンモック  
営業本部  
西山 宏樹

#### EMSの堅田電機

電気電子機器のハード/ソフト開発製造を受託一貫生産している堅田電機株式会社は雄大な比良山を背に琵琶湖のほとりに本社を構えている。

1969年に設立以来、電子回路基板を手はじめとし、1974年にはマイコン関連システムに着手し、1990年取引先とのパートナーシップ強化のために、香港に工場を設立した。

さらに1996年にはタイ工場を立ち上げ、2001年には中国東莞工場、2005年には中国昆山に中国での主力工場を設立した。

現在は海外従業員を含めると2500人へのぼる社員が働く国際的な電子機器の開発製造企業となっている。

設計から試作は国内で、大量生産は海外でという図式により、大幅なコストダウンを実現し、EMS(Electronics Manufacturing Service)の堅田電機として、制御回路や電源回路の供給において取引先の信頼を勝ち得てきた。

近年取引先各社からの情報セキュリティに対する要求が高まり、情報セキュリティについて

も信頼に足る堅田電機でありたいとの考えから、AssetView GOLDを導入した。

その経緯についてシステム課の辻本課長、担当の門間氏からお話を伺った。

#### 「情報セキュリティ推進委員会」

2006年冬、取引先各社からチェック表に基づく情報セキュリティの確認を求められた。

これを契機に社内で「情報セキュリティ推進委員会」を発足させた。委員会での討議の結果、まずはソフトウェアライセンスの管理と機密情報漏洩防止を目的とし、セキュリティツールの導入を行うことになった。

数社の製品を比較検討の結果、AssetView GOLDがコストパフォーマンスで最も優れていると判断し、2007年7月にAssetView GOLD A(PC資産管理)とM(PC稼働監視/不正操作対策)を購入、2007年9月に社内のパソコン全てに導入した。

#### 導入先企業データ

## 堅田電機株式会社

本社所在地：〒520-0232  
滋賀県大津市真野6丁目2-6

設立：1969年（昭和44年）11月  
資本金：4,500万円  
従業員数：200名  
URL：<http://www.katata.co.jp>

グローバルな視点からなる  
EMS

堅田電機

電子機器（各種OEM、SW電源、プリント基板）を開発から生産まで一貫受託。上海・蘇州隣接の昆山、広東省の東莞、香港、タイ、日本とグローバルに展開。堅田電機は、お客様のニーズに応えるEMS企業です。

■AssetView GOLD M



AssetView GOLD Mで不正なアプリケーションの利用はすぐにチェック。アラートで登録されているプロセスやアプリケーションが使用された場合は赤く表示され、該当する操作の詳細もすぐにチェックが可能である。



インターネットの閲覧を含めた一連のPC操作を記録し、不正操作にはクライアントPCに警告メッセージを表示させることが可能。これによりクライアントのセキュリティ意識の向上をはかることができる。

※掲載している画面は操作ログの一例です。

**直接的な導入効果**

AssetView GOLD Mの導入効果はすぐに現れた。

「社員にセキュリティツールの導入とその目的を周知徹底しましたので、業務に不要または許可しないソフトウェアの使用やインターネットの不適切な閲覧は自発的に激減しました。つまり社員の不適切な行動に対する抑止力が働いたわけです。」

辻本課長は力強く説明した。

「AssetView GOLD Aの効果もありました。ソフトウェアの管理が容易になり、資産の適切な配備や運用が可能となりました。今までフォローしにくかったパソコンのスペックなどもリアルタイムに把握でき、情報機器のリプレースにも活用できると思います。」

担当の門間氏は笑顔で補足した。

**社員の就業状況も改善**

「AssetView GOLD Mにより、社員のパソコン利用の動向が把握できるようになりました。これにより、一部社員の不適切なインターネット利用状況を改善することができたことなど、業務以外の無駄を排除し、社員の就業状況の改善に役立てることができました。」

さらにAssetView GOLD Mのプログラム実行禁止機能により、コンピューターウィルスの実行ファイルを停止させることで、未然に感染拡大を防ぐこともできました。」

**「安心と信頼のアドバンテージ」**

堅田電機では従来より、製造業における環境対応（RoHS対応など）に対して取引先各社に先立って実施してきた経緯がある。取引先から要求されている情報セキュリティ基準を満たすことはもちろん、それを上回る対応を実施して顧客に対する「安心と信頼のアドバンテージ」を更に向上させたいと考えている。ISMSをもとにポリシーを決定し、PDCAをまわして改善につとめているのも、そのあらわれである。

今後ともAssetView GOLDの機能を活用し、「情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC27001:2005）」の取得を目指してゆきたいと意欲をしめしていた。

AssetView GOLDは、PC稼働監視／不正操作対策機能のM、重要ファイル監査機能のI、PC資産管理機能のA、ファイル配布／自動インストール機能のDより、お客様が今必要な機能から自由に選択して購入・利用が可能な柔軟なツール。

今回の堅田電機のように、情報セキュリティ強化を求められている企業や自治体から多くの反響をいただいております。その中心となるAssetView GOLD MやAssetView GOLD Aは現在飛躍的に導入実績を伸ばし続けている。

AssetView GOLDを有効に活用し、これまで以上に取引先の信頼を勝ち得ることのできるシステム整備にこれからも大きな期待が寄せられている。